

ProArt

PA27JCV

ユーザーガイド



初版

2024年9月

Copyright © 2024 ASUSTeK COMPUTER INC. 無断複写、転載を禁じます。

購入者によるバックアップの場合を除き、ASUSTeK COMPUTER INC. (以下「ASUS社」)からの文書による明示的な許諾を得ることなく、本マニュアルに記載された製品およびソフトウェアを含む本マニュアルのいかなる部分も、いかなる形態または方法によっても無断で複製、送信、複写、情報検索システムへの保管、翻訳することは禁止されています。

以下の場合、製品保証やサービスを受けることができません。(1) 製品に対し、ASUS社によって文書により認定された以外の修理、改造、改変がおこなわれた場合。(2) 製品のシリアル番号が傷ついたり失われたりしている場合。

ASUS社は本書を「現状のまま」提供するものであり、市販性、特定目的との適合性に関する黙示の保証または条件を含む(ただし必ずしもこれらに限定されない)明示または暗示の保証を一切いたしません。ASUS社、同社の責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品の不具合から損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、いかなる間接的、直接的、偶発的、二次的な損害(利益の損失、取引上の損失、データの損失、業務の中断などを含む)に対し責任を負わないものとします。

本書の製品仕様や情報は参照のみを目的として提供されるもので、随時、予告なく変更される場合があります。ASUS社による確約として解釈されるものではありません。本書に記載された製品およびソフトウェアを含む、本書の内容に不具合や誤りがあったとしても、ASUS社は一切責任を負いません。

本書に記述のある製品名および商号は、各社の所有する登録商標または著作権である場合があります。本書ではこれら特定および説明のために使用しており、それらを侵害する意図はありません。

目次

目次	iii
通知	iv
安全上の注意	vi
留意点とお手入れについて	vii
回収サービス	viii
EUエネルギーラベルの製品情報	viii

第1章： 製品紹介

1.1 ようこそ！	1-1
1.2 本パッケージの内容	1-1
1.3 ディスプレイ各部の説明	1-2
1.3.1 前面図	1-2
1.3.2 背面図	1-4

第2章： セットアップ

2.1 ディスプレイアーム/ベースの組み立て	2-1
2.2 アーム/ベースの取り外し（VESAウォールマウント用）	2-2
2.3 ディスプレイの調整	2-3
2.4 ケーブル接続	2-4
2.5 ディスプレイの電源を入れる	2-5

第3章： 全般的な説明

3.1 画面（OSD）メニュー	3-1
3.1.1 設定方法	3-1
3.1.2 OSD機能の概要	3-2
3.2 仕様概要	3-13
3.3 外形寸法	3-15
3.4 トラブルシューティング（FAQ）	3-16
3.5 サポートされる動作モード	3-17

通知

FCC(米国連邦通信委員会)規定の適合宣言

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件の対象となります。

- 本装置は有害な電波障害を引き起こすとは限らないこと。
- 本装置は、誤動作を引き起こしうる電波障害を含め、いかなる電波障害も容認しなければならないこと。

本装置は、FCC規定第15部によるクラスBデジタル装置の規制に準拠することが試験により確認されています。これらの制限は、住宅に設置する際、有害な干渉を防止する適切な保護を提供するように設計されています。本装置は無線周波エネルギーを生成、使用し、放射しうするため、説明書の記載どおりに設置、使用しない場合には、無線通信に有害な電波障害を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置条件で干渉が発生しないという保証はありません。本装置の電源のオン/オフを切り替えることにより、本装置が無線またはテレビの受信に有害な電波障害を引き起こしていることが確認された場合は、電波障害を修正するために次の対処方法のうちいくつかをお試しください。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 本装置を受信機から離す。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路にコンセントを接続する。
- 販売店または無線機/テレビの専門技術者に問い合わせる。



FCC 規制への準拠を保証するために、モニターをグラフィックスカードに接続するためにシールドケーブルを使用する必要があります。準拠の責任者から明示的に承認されていない変更または改変を本装置に行うと、本装置を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

ENERGY STAR適合製品



ENERGY STARとは、米国環境保護庁と米国エネルギー省の共同プログラムであり、エネルギー効率の高い製品と実践を通じて、私たち全員がお金を節約し、環境を保護できるよう支援しています。

ENERGY STARロゴのあるすべてのASUS製品はENERGY STAR規格に準拠しており、電源管理機能はデフォルトで有効になっています。ユーザーが10分または30分間操作を行わないと、ディスプレイとコンピュータは自動的にスリープ状態に設定されます。コンピュータをスリープ解除するには、マウスをクリックするか、キーボードの任意のキーを押します。電源管理とその環境へのメリットの詳細については、<http://www.energystar.gov/powermanagement>をご覧ください。また、ENERGY STAR共同プログラムの詳細については、<http://www.energystar.gov>をご覧ください。



注: Energy Starは、FreeDOSおよびLinuxベースのオペレーティングシステムではサポートされていません。

カナダ通信省規制の適合宣言

本デジタル装置は、カナダ通信省の電波障害規制で規定されている、デジタル装置からの電波ノイズ放射に関するクラスB制限を超えません。

本クラスBデジタル装置は、カナダのICES-003に準拠しています。

本クラス B デジタル装置は、カナダの妨害装置規則のすべての要件を満たしています。

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouiller du Canada.



ソフトウェア低青色光コンプライアンス

ASUSは、「画像/ブルーライト低減」が最大に設定されている場合、すべてのモデルにSW LBLに合格することを要求します。

以下を参照し、眼の緊張を緩和してください：

- 長時間作業する場合、時々、ディスプレイから離れる必要があります：1 時間コンピュータで連続して作業したら、短い休み（5 分以上）を取ることが推奨されます。短い休み時間を頻繁に取ることは、長い休み時間を 1 回取ることより効果があります。
- 眼の緊張と乾きを最小限に抑えるために、ときどき遠くの物体を見つめて眼を休めてください。
- 眼の運動は眼の緊張緩和に役立ちます。次の運動を頻繁に行ってください。眼の疲れが取れない場合、医師にご相談ください。眼の運動：(1) 上下に繰り返し視点を移動します。(2) ゆっくり眼を回します。(3) 視線を斜めに動かします。
- 高エネルギーのブルーライトは、眼精疲労や AMD (加齢黄斑変性) を引き起こす可能性があります。ブルーライト低減は有害なブルーライトを最大 70% 減らし、コンピュータビジョン症候群 (CVS) 予防になります。

ブルーライトフィルターは最大に設定されています。TÜV Rheinlandの低ブルーライトソフトウェアソリューション認証に準拠しています。

フリッカーフリー技術

ディスプレイはフリッカーフリー技術を採用しており、目に見えるちらつきをなくし、快適な視聴体験をもたらし、ユーザーの目の疲れや疲労を軽減します。

安全上の注意

- ディスプレイのセットアップをおこなう前に、本製品に付属しているすべての説明書をよくお読みください。
- 火事や感電の危険を予防するため、ディスプレイを雨や湿気にさらさないでください。
- ディスプレイのキャビネットは決して開けないでください。ディスプレイ内部には危険な高電圧が通っており、重症を負う恐れがあります。
- 電源供給部が破損した場合は、ご自分で修理を試みないでください。その場合、正規のサービス技師または販売店にお問い合わせください。
- 本製品をご使用になる前に、すべてのケーブルが正しく接続されており電源コードが損傷していないことをご確認ください。何らかの損傷を発見した場合は、ただちにお買い上げ店までご連絡ください。
- キャビネット背面または上部にある細長い隙間および開口部は通気孔です。これらの穴をふさがないでください。適度な通気を確保していない状態で、本製品をラジエータや熱源のそばまたは上に置かないでください。
- ディスプレイの稼動には、ラベルに表示されたタイプの電源のみをご使用ください。ご家庭の電源タイプが不明な場合は、お買い上げ店または地域の電力会社までお問い合わせください。
- お住まいの地域の電力標準に従って、適切な電源プラグをご使用ください。
- OAタップや延長コードに過度の電流負荷をかけないでください。過重電流は感電を引き起こす恐れがあります。
- 埃、湿気、高温や低温を避けてください。ディスプレイを水がかかる恐れのある場所に置かないでください。また、ディスプレイは安定した平面に置いてください。
- 雷雨時、または長期にわたって使用しない場合は、装置の電源コードを抜いておいてください。これは、電力サージによる損傷からディスプレイを守るためです。
- ディスプレイのキャビネット開口部に、異物を押し込んだり液体をこぼしたりしないでください。
- 万全の動作を保証するため、本ディスプレイは100-240V ACと記され正しく構成されたレセプタクルを持つ、ULリスト記載のコンピュータでのみご使用ください。
- アース接続のあるコンセントに接続された電源コードを使用してください。
- ディスプレイに技術的な問題が発生した場合は、正規のサービス技師または販売店にお問い合わせください。
- ボリューム制御とイコライザーを中央位置以外の設定に調整すると、イヤホン/ヘッドホンの出力電圧が上昇し、音圧レベルが上昇する場合があります。
- 「重要：本製品付属のACアダプターおよび／または電源コード以外で本機に電力を供給しないでください。
- 付属のACアダプターおよび／または電源コードを他の製品に使用しないでください。故障、事故の原因となります。」



車輪付きのゴミ箱に×を付けたこの記号は、製品（電気、電子機器、水銀含有ボタン電池）を一般廃棄物入れるべきではないことを示しています。電子製品の廃棄に関する地域の規制を確認してください。

AEEE yönetmeliğine uygundur

留意点とお手入れについて

- ディスプレイを持ち上げたり移動したりする際は、あらかじめケーブルや電源コードを抜いておくことをお勧めします。ディスプレイを設置する際は、正しいやり方で持ち上げてください。ディスプレイを持ち上げたり持ち運んだりする際は、本体の縁をつかむようにしてください。スタンドやコードでディスプレイを持ち上げないでください。
- お手入れ方法。ディスプレイをオフにし、電源コードを抜きます。ディスプレイ表面を、汚れのない柔らかい布で拭きます。頑固な汚れには中性クリーナーで湿らせた柔らかい布をお使いください。
- アルコールやアセトン入りのクリーナーは使用しないでください。モニター用クリーナーをご使用ください。クリーナーを画面に直接吹き付けることは絶対にしないでください。クリーナー液がたれてディスプレイ内部に入り込むと、感電を引き起こす恐れがあります。

以下の症状は、ディスプレイの正常な状態です。

- 使用するデスクトップのパターンによっては、画面上の若干の輝度ムラを見られる場合があります。
- 同じ画像が何時間にも渡って表示され続けると、別の画像に変えた後でも前の画像の残像が残る場合があります。この場合、画面はゆっくり回復していきます。または電源をオフにして数時間すると直ります。
- 画面が真っ黒になったりフラッシュしたり、あるいは動作しなくなった場合は、販売店またはサービスセンターに修理を依頼してください。画面をご自分で修理しないでください。

本マニュアルのルール



警告：作業をおこなう上で、怪我の発生を防ぐための注意事項です。



注意：作業をおこなう上で、部品の損傷を防ぐための注意事項です。



重要：作業をおこなう際に従うべき注意事項です。



注：作業にあたってのヒントや補足情報です。

本書に記載された以外の情報を閲覧するには

追加情報や、製品およびソフトウェアのアップデートについては、以下の情報元を参照してください。

1. ASUS社ホームページ

ASUS社ホームページでは、世界中に向けてASUS社のハードウェアおよびソフトウェア製品の最新情報を提供しています。<http://www.asus.com>を参照してください。

2. オプション文書

お買い上げの製品パッケージには、販売業者によって追加されたオプション文書が同梱されている場合があります。これらの文書は標準パッケージの一部ではありません。

回収サービス

ASUSリサイクルおよび回収プログラムは、環境を保護するための最高水準に対するコミットメントからもたらされています。ASUSはお客様が当社製品、バッテリーおよびその他の部品、さらには梱包材料を責任を持ってリサイクルするためのソリューションを提供していると信じています。

異なる地域での詳細なリサイクル情報については、<http://csr.asus.com/english/Takeback.html>にアクセスしてください。

EUエネルギーラベルの製品情報



PA27JCV

1.1 ようこそ!

ASUS® 液晶ディスプレイをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ASUS社の最新型ワイド画面液晶ディスプレイは、より広く、より明るく、非常に鮮明なディスプレイに加え、便利な機能を搭載しています。

これらの機能により、ディスプレイがお届けする便利で快適なビジュアル体験をお楽しみいただけます。

1.2 本パッケージの内容

お手元のパッケージに、以下のものが入っていることを確認してください。

- ✓ 液晶ディスプレイ
- ✓ ディスプレイベース
- ✓ クイックスタートガイド
- ✓ 保証カード
- ✓ 電源コード
- ✓ HDMIケーブル(オプション)
- ✓ DisplayPortケーブル(オプション)
- ✓ USB C-Cケーブル(オプション)
- ✓ 色校正テストレポート
- ✓ ProArtウェルカムカード
- ✓ マイクロファイバー布



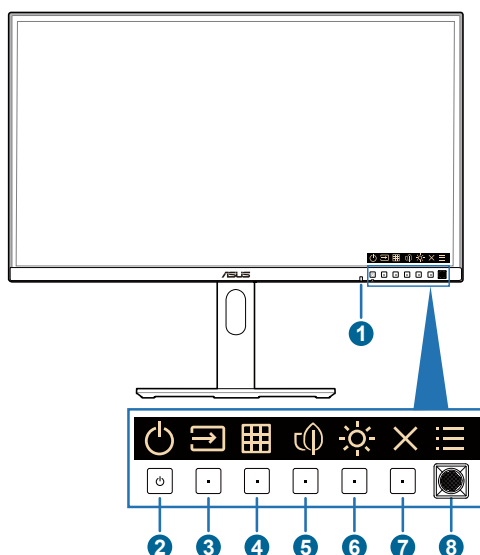
上記アイテムが損傷したり紛失した場合は、ただちに販売店までご連絡ください。



電源コードまたは接続ケーブルを交換する必要がある場合は、ASUSカスタマーサービスにお問い合わせください。

1.3 ディスプレイ各部の説明

1.3.1 前面図



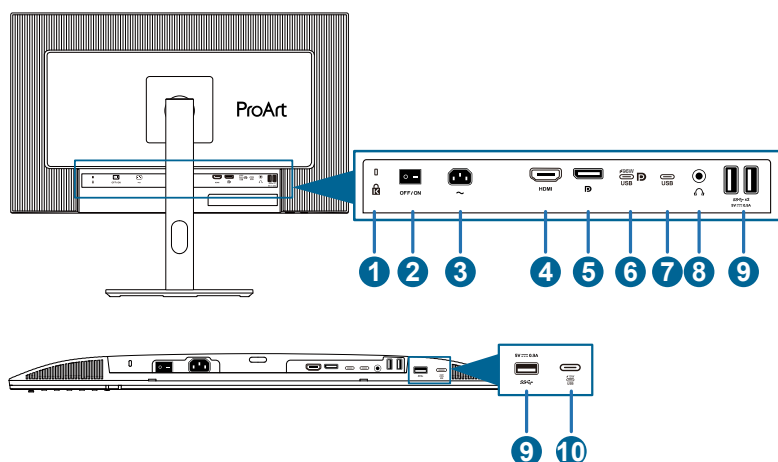
1. 光センサー:このセンサーは周囲光の変化を検出します。
2. 電源ボタン/電源インジケータ
 - モニターのオン/オフを切り替えます。このボタンを0.6秒間押し続けると、モニターがシャットダウンします。
 - 電源インジケータの色は、下の表のように定義されています。

状態	説明
白	オン
黄色	スタンバイモード
オフ	オフ

3. 入力選択:
 - OSDがオフのときにこのボタンを押すと、OSDメニューが表示されます。
 - このボタンを押すと、次のアクティブな入力ソースに切り替わります (利用可能な場合)。
4. QuickFit Plusボタン:
 - OSDがオフのときにこのボタンを押すと、OSDメニューが表示されます。
 - QuickFit Plus機能を選択します。

5.  ショートカット1
 - OSDがオフのときにこのボタンを押すと、OSDメニューが表示されます。
 - デフォルト：省電力ホットキー
 - ホットキー機能を変更するには、[ショートカット] > [ショートカット1]メニューに移動します。
6.  ショートカット2
 - OSDがオフのときにこのボタンを押すと、OSDメニューが表示されます。
 - デフォルト：明るさホットキー
 - ホットキー機能を変更するには、[ショートカット] > [ショートカット2]メニューに移動します。
7.  終了ボタン：
 - OSDがオフのときにこのボタンを押すと、OSDメニューが表示されます。
 - OSDメニューを終了します。
8.  メニュー (5ウェイ) ボタン：
 - OSDがオフのときにこのボタンを押すと、OSDメニューが表示されます。このボタンをもう一度押すと、OSDメインメニューに入ります。
 - 選択したOSDメニュー項目を実行します。
 - 値を増やす/減らすか、選択を上/下/左/右に動かします。
 - 5ウェイボタンを5秒以上押し続けると、キーロック機能のオンとオフが切り替わります。

1.3.2 背面図



1. ケンジントンロックスロット。
2. 電源スイッチ:スイッチを押して電源をオン/オフします。
3. AC入力ポート:このポートは電源コードを接続する際に使用します。
4. HDMI ポート:このポートはHDMI互換デバイスを接続する際に使用します。
5. DisplayPort入力:このポートはDisplayPort互換デバイスを接続する際に使用します。
6. USB 3.2 Gen 1 Type-C(KVM アップストリーム1):このポートはUSBアップストリームケーブルを接続する際に使用します。この接続は、USB電源とデータ配線をサポートしています。



このモニターは、Super-Speed USB 3.2 Gen 1互換 (5Gbps) です。このポートは、5V/3A、9V/3A、12V/3A、15V/3A、20V/4.8Aの出力電圧で96Wの電力を供給します。

7. USB 3.2 Gen 1 Type-C(KVM アップストリーム2):このポートはUSBアップストリームケーブルを接続する際に使用します。接続はデータ転送のみに対応します。
8. イヤホン端子:このポートは、HDMI/DisplayPort/USB Type-Cケーブルが接続されている場合にのみ使用できます。
9. USB 3.2 Gen 1 Type-A:これらのポートは、USBキーボード/マウス、USBフラッシュドライブなどのUSBデバイスを接続する際に使用します。
10. USB 3.2 Gen 1 Type-C:このポートは、USBキーボード/マウス、USBフラッシュドライブなどのUSBデバイスを接続する際に使用します。

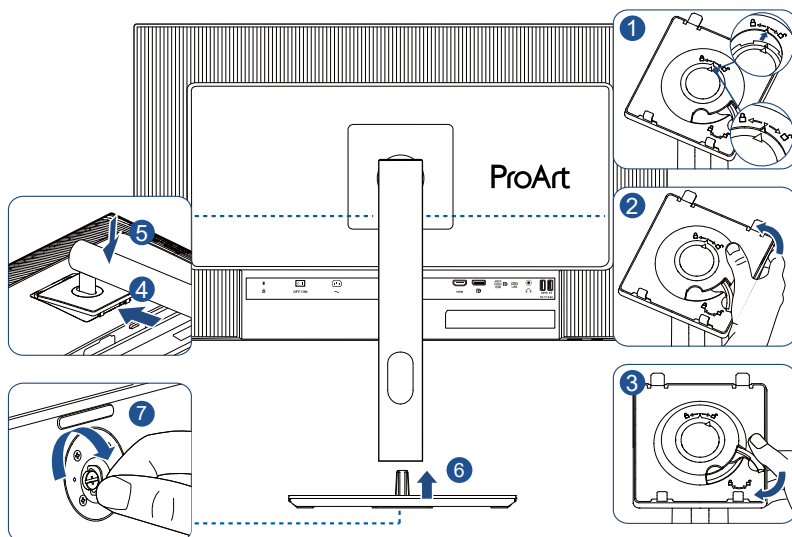
2.1 ディスプレイアーム/ベースの組み立て

ディスプレイベースの組み立て：

1. VESAカバーの三角マークを合わせてください。
2. VESAカバーにアームを取り付けます。
3. ロックを閉めて、アームとVESAカバーを組み立てます。
4. ディスプレイの前面を下にしてテーブルに置き、アームのタブをVESAカバーのスロットにスライドさせます。
5. アームアセンブリを押し下げて所定の位置にはめ込みます。
6. ベースをアームに取り付け、アームのタブがベースの溝に収まっていることを確認します。
7. 付属のネジを締めてベースをアームに固定します。



ディスプレイの損傷を防ぐために、設置する台に柔らかい布を敷いておくことをお勧めします。



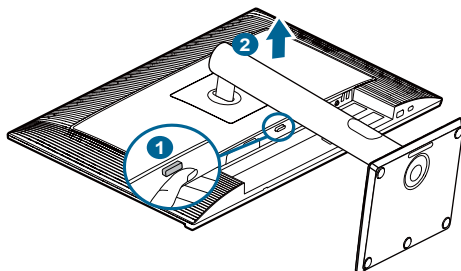
ベースのネジサイズ：M6 x 16.2 mm。

2.2 アーム/ベースの取り外し(VESAウォールマウント用)

当ディスプレイの取り外し可能アーム/ベースは、VESAウォールマウント専用に設計されたものです。

アーム/ベースの取り外し：

1. ディスプレイの前面を下にして、テーブルの上に置きます。
2. リリースボタンを押して、アーム/ベースをディスプレイから取り外します (図1)。



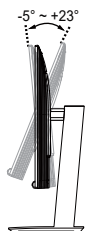
ディスプレイの損傷を防ぐために、設置する台に柔らかい布を敷いておくことをお勧めします。



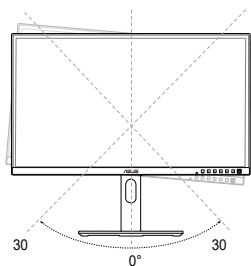
- VESAウォールマウントキット (100 x 100 mm) は別売りです。
- UL/CSA/GSリストに記載された、最小重量/耐荷重能力が5.85kg (12.9ポンド) 以上 (ネジサイズ:M4 x 10 mm) のウォールマウントブラケットのみをご使用ください。

2.3 ディスプレイの調整

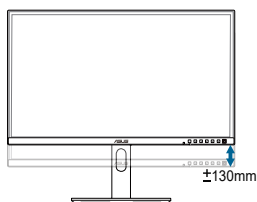
- 快適にご使用いただくために、ディスプレイに向かったときに画面がよく見える角度に調節しておくことをお勧めします。
- 角度を変える際は、ディスプレイが落ちないようにスタンド部を押さえながらおこなってください。
- ディスプレイの角度は $+23^{\circ}$ ～ -5° まで調節でき、左右どちらからでも $\pm 30^{\circ}$ のスイベル調節が可能で、 $\pm 90^{\circ}$ のピボット調節が可能です。ディスプレイの高さは $\pm 130\text{ mm}$ の間で調節可能です。



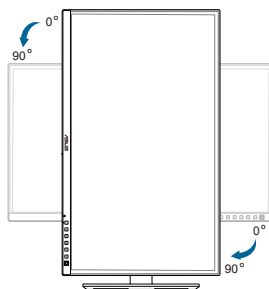
(チルト)



(スイベル)



(高さ調整)



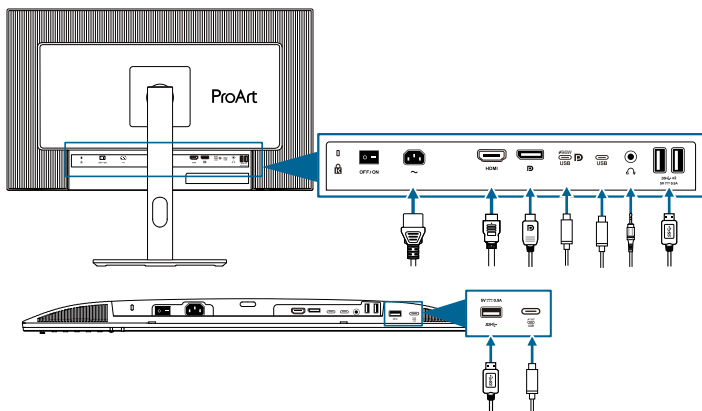
(ピボット)



視角を調整する間ディスプレイが微かに振動するのは異常なことではありません。

2.4 ケーブル接続

次の手順に従ってケーブルを接続します：



- **電源コードを接続する：**電源コードの一端をディスプレイのAC入力ポートにしっかりと接続し、もう一方の端を壁のコンセントに接続します。
- **HDMI/DisplayPort/USB Type-C*ケーブルを接続するには：**
 - a. HDMI/DisplayPort/USBタイプC*ケーブルの一方の端をモニターのHDMI/DisplayPort/USBタイプCジャックに接続します。
 - b. HDMI/DisplayPort/USBタイプC*ケーブルのもう一方の端をデバイスのHDMI/DisplayPort/USBタイプCジャックに接続します。



USB認定のタイプCケーブルを使用することをお勧めします。信号ソースがDP Altモードをサポートしている場合、すべてのビデオ、オーディオ、データ信号を送信できます。

- **イヤホンを使用するには：**HDMI/DisplayPort/USB Type-C信号が供給されている場合は、プラグタイプの端をディスプレイのイヤホン端子に接続します。
- **USB 3.2 Gen 1ポートを使用するには：**
 - » アップストリーム：USB Type-Cケーブルを使用し、Type-Cコネクタの端をアップストリームとしてディスプレイのUSB Type-Cポートに接続し、もう一方の端をコンピュータのUSB Type-C端子に接続します。または、USB Type-C-Type-Aケーブルを使用して、Type-CコネクタをアップストリームとしてディスプレイのUSB Type-Cに接続し、Type-AコネクタをコンピュータのUSB Type-A端子に接続します。お使いのコンピュータにWindows、macOSオペレーティングシステムがインストールされていることを確認してください。これにより、モニターのUSBポートが機能するようになります。
 - » ダウンストリーム：USBケーブルを使用して、デバイスをディスプレイのUSB Type-A端子に接続します。



これらのケーブルが接続されている場合、メニューの「信号」項目からご希望の信号を選択することができます。



電源コードまたは接続ケーブルを交換する必要がある場合は、ASUS カスタマーサービスにお問い合わせください。

2.5 ディスプレイの電源を入れる

電源ボタン  を押します。電源ボタンの位置については、1-2ページを参照してください。電源インジケータ  が白く点灯し、ディスプレイがオンであることを示します。

3.1 画面(OSD)メニュー

3.1.1 設定方法



1. ボタンを押すと、OSDメニューが表示されます。
2. ≡メニュー (5ウェイ) ボタンを押して、OSDメインメニューに入ります。
3. ≡メニュー (5ウェイ) ボタンを上下左右に動かして、機能をナビゲートします。目的の機能を強調表示し、メニュー (5ウェイ) ボタンを押して有効にします。選択した機能にサブメニューがある場合は、≡メニュー (5ウェイ) ボタンを上下に動かしてサブメニュー機能をナビゲートします。目的のサブメニュー機能を強調表示し、≡メニュー (5ウェイ) ボタンを押すか、≡メニュー (5ウェイ) ボタンを動かして有効にします。
4. ≡メニュー (5ウェイ) ボタンを上/下に動かして、選択した機能の設定を変更します。
5. OSDメニューを終了して保存するには、OSDメニューが消えるまで X ボタンを押すか、≡メニュー (5ウェイ) ボタンを繰り返し左に動かします。他の機能を調節するには、手順1~4を繰り返します。

3.1.2 OSD機能の概要

1. Preset

この機能には10のサブ機能があり、お好みに応じて選択することができます。各モードにはリセットオプションがあり、設定の変更内容を維持するか、プリセットモードに戻るかを選択できます。



- **ネイティブモード**: ドキュメント編集に最適です。



ネイティブモード はEnergy Star®要件を満たしています。

- **sRGBモード**: sRGB色空間と互換しています。sRGBモードはドキュメント編集に最適なモードです。
- **Adobe RGB モード**: Adobe RGB色空間と互換性があります。
- **Rec. 2020 モード**: Rec.2020色空間と互換性があります。
- **DCI-P3 モード**: DCI-P3色空間と互換性があります。
- **DICOM モード**: DICOM規格に対応、医用画像検査に最適です。
- **Rec. 709 モード**: Rec. 709色空間と互換性があります。
- **HDR**: 高ダイナミックレンジ。3つのHDRモード (**PQ Optimized**, **PQ Clip**, **PQ Basic**) が含まれています。



この機能を有効にするには、次の手順を実行する必要があります: PIP/PBPをオフにします。

HDR性能を向上させるには (DisplayHDR規格を満たすため)、次の手順を実行する必要があります: Dynamic DimmingをFastに設定し、HDRモードをPQ Clipに設定します。

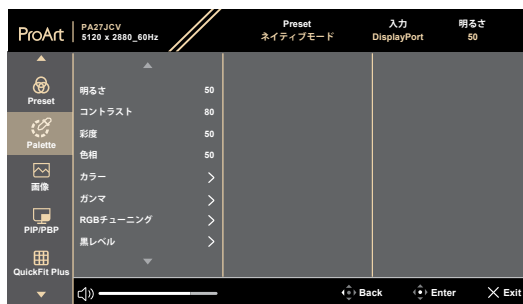
- **ユーザーモード 1/ユーザーモード 2**: 詳細設定でカラー調節を行うことができます。

以下の表は、各ProArt Presetモードのデフォルト設定を示しています。

機能	ネイティブ モード	sRGB モード	Adobe RGBモード	Rec. 2020モ ード	DCI-P3 モード	DICOM	Rec. 709 モード	モードHDR	ユーザー モード1/ ユーザー モード2
カラー	6500K	固定 (6500K)	固定 (6500K)	6500K	P3-Theater	6500K	6500K	固定 (6500K)	6500K
輝度	50	固定 80ニット	160 ニット	100 ニット	48 ニット	50	100 ニット	250ニット/ 最大	50
コントラスト	80	80	80	80	80	80	80	固定	80
鮮明度	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)
彩度	中 (50)	固定	中 (50)	中 (50)	中 (50)	中 (50)	中 (50)	固定	中 (50)
色相	中 (50)	固定	中 (50)	中 (50)	中 (50)	中 (50)	中 (50)	固定	中 (50)
ProArt Palette/ Color	有効 (デフォルト)	固定	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (RGB ゲインのみ)	有効 (RGB ゲインのみ)
黒レベル	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)
ガンマ	有効 (2.2)	固定 (2.2)	固定 (2.2)	有効 (2.4)	有効 (2.2、 2.6のみ)	固定 (DICOM)	有効 (2.4)	固定	固定 (2.2)
入力範囲	有効 (自動)	有効 (自動)	有効 (自動)	有効 (自動)	有効 (自動)	有効 (自動)	有効 (自動)	有効 (自動)	有効 (自動)

2. Palette

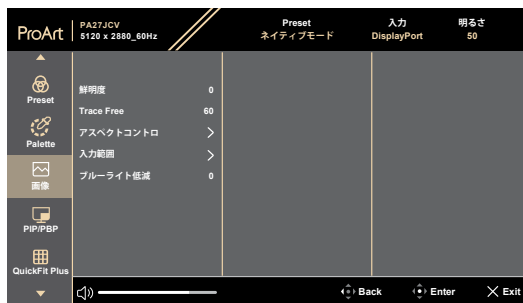
このメニューからご希望の色設定を選択します。



- **明るさ**: 0 ～ 100の範囲で調整可能です。
- **コントラスト**: 0 ～ 100の範囲で調整可能です。
- **彩度**: 0 ～ 100の範囲で調整可能です。
- **色相**: 画像の色を緑と紫の間で変化させます。
- **カラー**: 9300K、6500K、5500K、5000K、P3-Theaterの5つのモードが含まれています。P3-Theaterは、DCI-P3モードでのみ使用できます。
- **ガンマ**: カラー モードを 2.6、2.4、2.2、2.0、または1.8 に設定できます。
- **RGBチューニング**:
 - * **ゲイン**: 0 ～ 100の範囲で調整可能です。
 - * **オフセット**: 0 ～ 100の範囲で調整可能です。
- **黒レベル**: 最も暗いグレーレベルの初期化された第1信号レベルを調節します。
 - * **信号**: 0 ～ 100の範囲で調整可能です。
 - * **バックライト**: バックライトの暗さを調節します。
- **色のリセット**:
 - * **現在のプリセット**:
現在のカラーモードの色設定を工場出荷値にリセットします。
 - * **すべてのプリセット**:
すべてのカラーモードの色設定を工場出荷値にリセットします。

3. 画像

このメニューから、画像に関連した設定をおこないます。



- **鮮明度**: 0 ~ 100の範囲で調整可能です。
- **Trace Free**: ディスプレイの応答時間を調節します。



この機能を有効にするには、次の手順を実行する必要があります: デバイスで PIP/PBP をオフにし、HDR を無効にします。

- **アスペクトコントロール**: アスペクト比をフル画面、ドット対ドット、または1:1の比率に調節します。



この機能を有効にするには、次の手順を実行する必要があります: **MediaSync** と **PBP** をオフにします。

- **入力範囲**: 信号範囲全体を黒から白の表示範囲にマッピングします。
- **ブルーライト低減**: ブルーライト低減の強度を調節します。



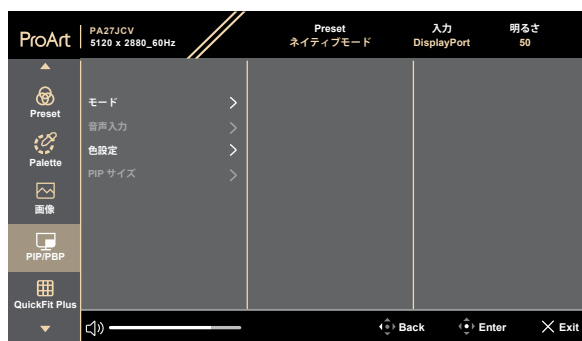
この機能を有効にするには、次の手順を実行する必要があります: デバイスで HDR を無効にします。

4. PIP/PBP

PIP/PBPメニューを使用すると、元のビデオソースのメインウィンドウのほかに、別のビデオソース（入力ソースが60Hz未満の場合）から接続された別のサブウィンドウを開くことができます。



この機能を有効にするには、次の手順を実行する必要があります：デバイスで **MediaSync/VR/ダイナミック調光** をオフにし、HDRを無効にします。



- **モード**： PIP、PBP機能を選択するか、オフにします。



両方のディスプレイをPBPモードで全画面表示にするには、OSディスプレイ設定で両方の解像度設定を5120x2880に設定します。（また、Intelグラフィックカードを使用している場合は、スケーリングオプションが[Maintain Display Scaling]であることを確認してください。）

- **音声入力**： HDMI、DisplayPort、USB Type-Cの中からビデオ入力ソースを選択します。入力ソースの組み合わせを次の表に示します。
- **色設定**： メインウィンドウとサブウィンドウのカラープリセットを選択します。
- **PIP サイズ**： PIPサイズを「小」、「中」、「大」のいずれかに調節します。（PIPモードでのみ使用可能）。

5. QuickFit Plus

この機能では、さまざまな種類の位置合わせパターンを使用できます。



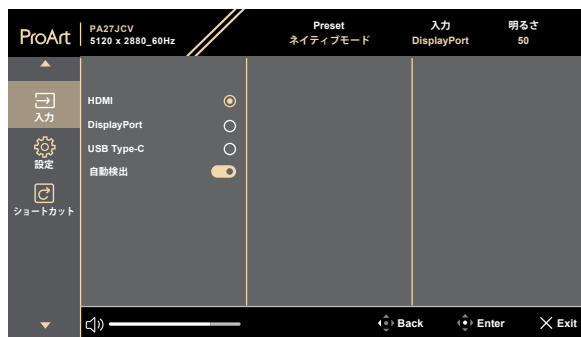
この機能を有効にするには、次のことを行う必要があります：PIP/PBPをオフにし、デバイスのHDRを無効にし、画面を通常の位置に戻します（回転させないでください）。



- **安全領域**：デザイナーおよびユーザーはページ上のコンテンツおよびレイアウトを整理し、一貫した表示とスタイルを維持することができます。以下の選択肢があります：**1:1**、**操作安全**、**タイトルセーフ**、**3 x 3**。
- **センターマーカー**：**タイプ1**、**タイプ2**、**タイプ3**を調節します。
- **Customization**：メニュー（5ウェイ）ボタンを上下左右に動かしてフレームサイズを決めることができます。メニュー（5ウェイ）ボタンを3秒以上押し続けると、単位をミリメートルとインチの間で切り替えることができます。
- **Ruler**：このパターンでは、物理的な定規を上部和左側に表示します。メニュー（5ウェイ）ボタンを3秒以上押し続けると、測定値をメートル法とインチ法の間で切り替えることができます。
- **ミラーモード**：画像を水平方向に反転します。

6. 入力

この機能では、目的の入力ソースを選択できます。



- **自動検出**: 現在の入力信号が非アクティブなときに、他のアクティブな信号を自動的に検出します。



この機能を有効にするには、次の手順を実行する必要があります：デジタイゼーションDisplayPort出力の接続を外します（MST出力を無効にするため）。

7. 設定

システムを調節できます。



- **MediaSync:** VESA MediaSyncサポートをオンにします。

- * MediaSyncは48Hz～60Hz内でのみ有効にできます。
- * サポートされているGPU、最小PCシステム、およびドライバの要件については、GPUの製造元にお問い合わせください。



この機能を有効にするには、次の手順を実行する必要があります：PIP/PBPをオフにします。

- **ダイナミック調光:** バックライトのダイナミック調光を実行するためにコントラストを変更しながら、コンテンツと同期します。同期速度を「オン」、または「オフ」に調節できます。



この機能を有効にするには、次の手順を実行する必要があります：**PIP/PBP**をオフにします。

- **省電力:** 省電力時にハブの電源をオンにする場合は、**標準レベル**を選択します。省電力時にハブの電源をオフにする場合は、**ディープレベル**を選択します。



デジチェーン接続を有効にするには、次の手順を実行する必要があります：省電力を標準レベルに設定します。注：DP出力ケーブルが差し込まれている場合、入力ポートは固定されます（自動検出なし）。

- **メニュー設定:**

- * **メニュータイムアウト**を10～120秒の範囲で調節します。
- * DDC/CI機能を有効化あるいは無効化します。
- * メニュー背景を不透明から透明までの範囲で調節します。
- * **自動ローテーション**機能を有効または無効にします。



自動ローテーションを有効にするには、次の手順を実行する必要があります：PIP/PBPをオフにします。

- **言語:** 英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、ポルトガル語、ロシア語、チェコ語、クロアチア語、ポーランド語、ルーマニア語、ハンガリー語、トルコ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語、タイ語、インドネシア語、ペルシャ語、ウクライナ語を含む22の言語から選択できます。

- **サウンド:**

- * **ボリューム**を0～100に調節します。
- * オーディオ出力を**ミュート**または**ミュート解除**します。
- * **PIP/PBPソース**からオーディオ入力を選択します。



サウンド機能を有効にするには、次の手順を実行する必要があります：PIP/PBPをオンにします。

- **DisplayPortストリーム:** グラフィックカードとの互換性。グラフィックカードDPバージョンにより、**DisplayPort 1.2**または**DisplayPort 1.4**または**DisplayPort 1.4 + USB3.2**を選択します。



デジタイゼーション接続を有効にするには、次の手順を実行する必要があります：省電力を標準レベルに設定します。注：DP出力ケーブルが差し込まれている場合、入力ポートは固定されます（自動検出なし）。

- **ロック:**

- * **キー:** すべての機能キーを無効にします。5ウェイボタンを5秒以上押し続けると、キーロック機能が解除されます。
- * **プリセット設定:** すべてのパラメーターをロックして、ProArt Paletteを無効（グレーアウト）します。

- **電源インジケータ:** 電源LEDインジケータのオン/オフを切り替えます。

- **照明同期:** 周囲光または内部光の条件に応じて、バックライトの輝度と色温度を調整します。

- * **内部輝度:** 照度のデフォルト状態との違いに基づき、バックライトの強度を補正します。

- * **周囲輝度:**周囲光に基づいて、バックライトの照度を動的に調整します。
- * **周囲色温度:**周囲光に基づいて、色温度を動的に調整します。
- **KVM:**ユーザーが、HDMI/ DisplayPort接続に基づき、対象のUSBアップストリームモードを割り当てられるようにします。以下のルールに従います。
 - * アップストリーム1:USB Type-Cポート、DP Altモード。
 - * アップストリーム2:USB Type-Cポート(データ転送のみ)。
 - * すべてをリセットするとアップストリーム1/自動が優先され、接続されている場合は選択されます。
 - * 最初に接続されたアップストリームが優先されます。つまり、アップストリームが1つのみ接続されている場合は、OSD設定の内容に関係なく、KVMはそちらへ切り替わります。
 - * 両方が接続されている場合は、電源をオンにすると直前に有効だったオプションが選択されます。
 - * 合致するオプションを選択している場合は、ポートを手動または自動で切り替えた後、KVMを切り替えます。
 - * 対応するアップストリームが接続されている場合のみ、OSDメニューのオプションを変更すると、直ちにKVMを切り替えます。
- **CEC:**モニターの電源オンとシャットダウン操作、およびHDMIポートを通じて接続されているNUC mini PCポートを接続します。
 - * フロントベゼルの電源ボタンを使用してモニターの電源をオンまたはオフにすると、接続されているNUCの電源もオンまたはオフされます。
 - * 接続されているNUCをオンまたはオフすると、モニターも同時にオンまたはオフされます。
- **情報:**ディスプレイ情報を表示します。
- **すべてのリセット:**「はい」を選択すると、デフォルト設定を復元できます。

8. ショートカット

ショートカット1および2ボタンの機能を定義します。



- **ショートカット1/ショートカット2**: ショートカット1および2ボタンの機能を選択します。



特定の機能が選択されているまたはアクティブになっている場合、ショートカットキーがサポートされない可能性があります。ショートカットに使用可能な機能の選択肢：ブルーライト低減、明るさ、HDR、コントラスト、PIP/PBP、カラー、ボリューム、省エネ、ユーザーモード1、ユーザーモード2。

3.2 仕様概要

パネルタイプ	TFT LCD
パネルサイズ	27" (16:9, 68.47 cm)ワイドスクリーン
最大解像度	5120 x 2880
画素ピッチ	0.116 mm x 0.116 mm
明るさ (標準)	400 cd/m ² (SDR)、500 cd/m ² (HDR)
コントラスト比 (標準)	1500:1
視角 (水平/垂直) CR>10	178°/178°
表示色	1073.7百万 (8bit+FRC)
応答時間	5ミリ秒 (GTG)
ProArt Presetの選択	10色のプリセットモード
自動調整	いいえ
カラー選択	5種のカラー
アナログ入力	いいえ
デジタル入力	DisplayPort v1.4, HDMI 2.1 x 1, DisplayPort over USB Type-C (アップストリーム1), USB Type-C (アップストリーム2)
デジタル出力	はい
イヤホンジャック	はい
音声入力	いいえ
スピーカー (内蔵)	2 W x 2ステレオ、RMS
USB 3.2 Gen 1ポート	3 x USB 3.2 Gen 1 Type-C 3 x USB 3.2 Gen 1 Type-A
色	黒
電源LED	白 (オン)/黄色 (スタンバイ)
チルト	+23° ~ -5°
ピボット	+90° ~ -90°
スイベル	+30° ~ -30°
高さ調整	130 mm
Kensington ロック	はい
AC入力電圧	AC: 100-240V~50/60Hz
消費電力	電源オン: 31.04W**, 省電力モード:< 0.5 W、 電源オフ: 0 W (ハードスイッチ)
温度 (操作)	0°C~40°C
温度 (非使用)	-20°C~+60°C
スタンドなしの寸法 (幅 x 高 x 奥行)	612.22 mm x 362.89 mm x 44.1 mm
スタンド付き寸法 (幅 x 高 x 奥行)	612.22 mm x 538.11mm x 215.00 mm (最高時) 612.22 mm x 408.11mm x 215.00 mm (最低時) 691 mm x 427 mm x 138 mm (梱包時)

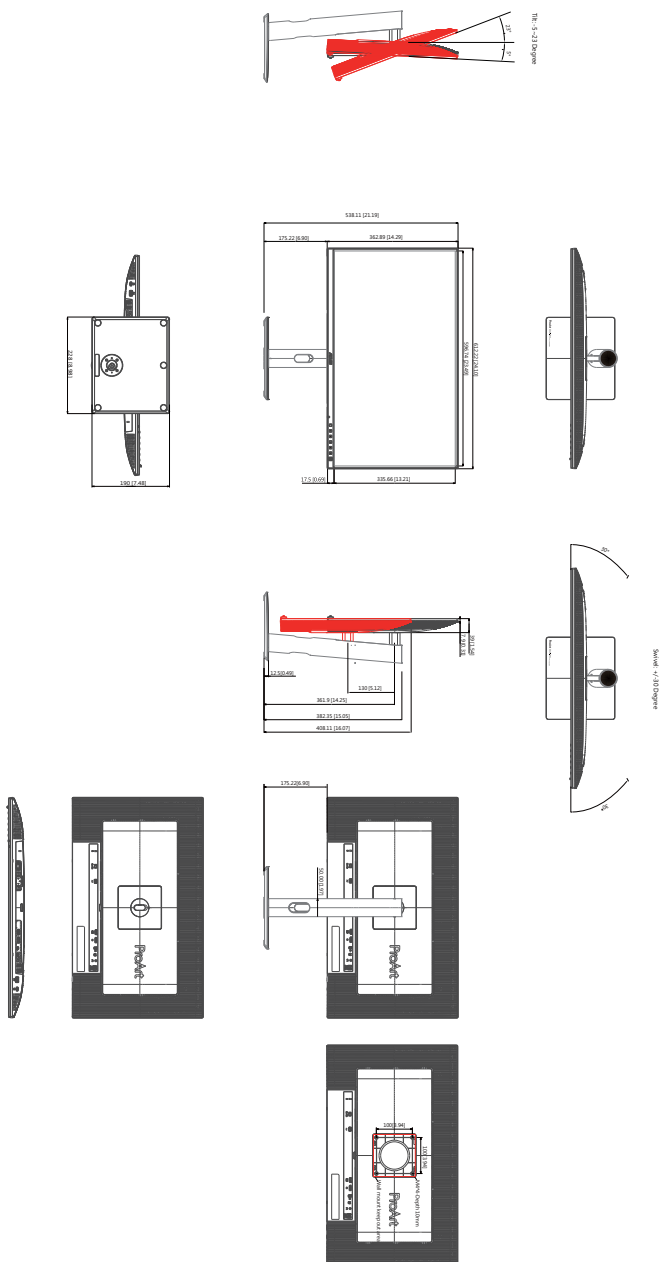
重量(目安)	5.91 kg (正味重量)、4.14 kg (正味重量、スタンドなし) 8.73 kg (総重量)
多言語	22の言語 (英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、ポルトガル語、ロシア語、チェコ語、クロアチア語、ポーランド語、ルーマニア語、ハンガリー語、トルコ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語、タイ語、インドネシア語、ベルシャ語、ウクライナ語)
付属品	クイックスタートガイド、保証書、電源コード、HDMIケーブル (オプション)、DisplayPortケーブル (オプション)、USB C-Cケーブル (オプション)、色校正テストレポート、ProArtウェルカムカード
コンプライアンスおよび規格	cTUVus, FCC, ICES-3, EPEAT Gold, CB, CE, ErP, WEEE, EU Energy, ISO 9241-307, UkrSEPRO, CU, CCC, CEL, BSMI, RCM, VCCI, KMEPS, PSE, PC Recycle, J-MOSS, KC, KCC, PSB, Energy Star®, Ukraine Energy, RoHs, HF, CEC, Windows 10/11 WHQL, Flicker Free, Low Blue Light, CECP, FSC Mix

* 仕様は予告なしに変更される場合があります。

** Energy Star 8.0バージョンで定義されているオンモードの消費電力。

ASUS PA27JCVシリーズ液晶ディスプレイ

3-15



3.4 トラブルシューティング (FAQ)

問題	可能な解決方法
電源LEDが点灯しない	• 電源ボタンを押して、ディスプレイの電源がオンになっているかどうか確認してください。 • 電源コードがディスプレイとコンセントに正しく接続されているかどうか確認してください。 • 電源スイッチがオンになっているか確認します。
黄色の電源LEDが点灯しているのに画面に何も表示されない	• ディスプレイとコンピュータの電源がオンになっているかどうか確認してください。 • 信号ケーブルがディスプレイとコンピュータに正しく接続されていることを確認してください。 • 信号ケーブルのピンが曲がっていないか確認してください。 • コンピュータを別のディスプレイ (あれば) に接続してみて、コンピュータが正しく作動しているかどうか確認してください。
映像が明るすぎる、または暗すぎる	• メニューからコントラストと明るさ設定を調整してください。
映像がバウンスする、または映像に波模様が現れる	• 信号ケーブルがディスプレイとコンピュータに正しく接続されていることを確認してください。 • 電気障害を引き起こしている可能性のある電気機器をディスプレイから離してください。
映像の色彩に異常がある (白色が白く見えない)	• 信号ケーブルのピンが曲がっていないか確認してください。 • メニューから「すべてのリセット」を実行してください。 • メニューで赤/緑/青の色設定を調整するか、カラーを選択してください。
音が出ない、または音が小さい	• HDMI/DisplayPort/USB Type Cケーブルがモニターとコンピュータに正しく接続されていることを確認してください。 • モニターとHDMI/DisplayPort/USB Type Cデバイスの両方のボリューム設定を調節します。 • コンピュータのサウンドカードドライバが正しくインストールされ、有効化されていることを確認してください。

3.5 サポートされる動作モード

解像度周波数	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル (MHz)	フル画面/ PIP	PBP
640 x 480	31.469(N)	59.94(N)	25.175	V	V
800 x 600	37.879(P)	60.317(P)	40	V	V
1024 x 768	48.363(N)	60.004(N)	65	V	V
1280 x 960	60(P)	60(P)	108	V	V
1280 x 1024	63.981(P)	60.02(P)	108	V	V
1280 x 720	45(P)	60(P)	74.25	V	V
1600 x 1200	75(P)	60(P)	162	V	V
1920 x 1080	67.5(P)	60(P)	148.5	V	V
2560 x 1440 (リデュースドブラン キング)	88.787(P)	60(N)	241.5	V	
3840 x 2160 (リデュースドブラン キング)	133.313(P)	60(N)	533.25	V	V
5120 x 2880 (リデュースドブラン キング)	177.719(P)	60(N)	924.14	V	
5120 x 2880 (リデュースドブラン キング)	87.595(P)	30(N)	462.5	V	
3840 x 2160 (リデュースドブラン キング)	133.125(P)	60(N)	532.5	V	
3840 x 2160 (リデュースドブラン キング)	65.625(P)	30(N)	262.5	V	
3840 x 2160 (リデュースドブラン キング)	52.375(P)	24(N)	209.5	V	
2560 x 2880 (リデュースドブラン キング)	177.665(P)	60(N)	483.25		V

「P」/「N」は、入力されるH-sync/V-sync(入力タイミング)の「Positive」/「Negative」極性を表します。

モニターがビデオモードで動作している場合（つまり、データを表示していない場合）、標準解像度のビデオに加えて、次の高解像度モードがサポートされます。

解像度	垂直周波数 (Hz)
4096 x 2160p	24Hz
	25Hz
	30Hz
	50Hz
	60Hz
3840 x 2160p	24Hz
	25Hz
	30Hz
	50Hz
	60Hz
1920 x 1080p	24Hz
	25Hz
	30Hz
	50Hz
	60Hz
1920 x 1080i	50Hz
	60Hz
1280 x 720p	50Hz
	60Hz
720 x 576p	50Hz
720 x 576i	50Hz
720 x 480p	60Hz
720 x 480i	60Hz
640 x 480p	60Hz

ASUS